

平成 26 年
5月 16日発行
No. 11

コミュニティ・スクールだよりかいせい

開成町
コミュニティ・スクール
推進連絡委員会

新年度が始まって、1か月半過ぎました。期待に胸を膨らませ、ワクワク・ドキドキしながら登校しだした1年生。学校の大きな特徴でもある、「時間で動いていく」という流れがつかめてきたことだろうと思います。次のステップ「決まりを守って、みんなとなかよくやろう」に向かって、力強く進んでほしいものです。

「私もお手伝いします」

保護者の支援活動とコミュニティ・スクール制度

この写真をご覧ください。4月11日午後1時半ごろの開成小学校低学年グラウンド（低学年玄関前）の様子です。入学して5日目です。これから子どもたちにとってはお待ちかねの下校です。皆さんは、「さようなら、車に気を付けて帰りなさいね。」で終わりかと思われるでしょうが、1年生、ましてこの時期の1年生は、そういうわけにはいきません。

もう考えるのヤダというくらい気疲れしてしまっている子、遊び足りなくて元気が余ってしまっている子、もっといっぱい友達とお話したいと思っている子、いろいろなお子さんがいます。また、家へ帰る道順が心配という子も実際にはいます。でも、どのお子さんも、一日の学習が終えた充実感、開放感を味わっている時です。

担任はというと、赤コースの子は誰と誰と誰で、学童保育に行くのは誰と誰と誰で、今日は誰ちゃんは、まっすぐお家へ帰ってくるようにという連絡帳が来ていたから・・・、と。話にすると、授業より気疲れする時間なのかも知れませんが、家に帰るだけなんだから、安全さえ見守っていれば平気だろうと思われるかもしれませんが、実際は、安全面だけでなく、心の安定を作る上でも、とても大事な時間なのです。一日を締めくくる最後のツメの時です。

では、左の写真をご覧ください。

これは、前の写真の6分後、子どもたちは西門を出て、家路につきました。仲良くおしゃべりしながら歩いているようです。先生は先頭を歩いています。注目してほしいのは、しんがり歩いているお二人です。このお二人は、入学説明会で募集した「1年生送りボランティア」に応募してくださった保護者の方々です。貴重な時間を割いて、子どもたちの楽しい下校、安全な下校を支えてくださいました。

1年生の下校を支えてくださっているのは、この



一緒に歩いてくださっている方にとどまりません。先生の引率が終わるポイントで子どもたちを引き継いでくださる「お迎え」の方々もそうです。途中で見守って、声をかけてくださる地域の方々もいらっしゃいます。いろいろな方々の気持ち、心遣いで子どもたちは、楽しい毎日、安全な毎日を送ることができています。

『「コミュニティ・スクール」って何？』

保護者や地域のボランティアによって助けられ、支えられている学校のことなの？

確かに、1年生の下校の話からは、コミュニティ・スクールというのは、地域や保護者の力を学校の中に取り込んで、学校運営を円滑化するシステムと考えるかもしれません。これも、コミュニティ・スクール制度の重要な要素の一つです。でも、一寸立ち止まって考えると、昔だって、子どもたちの登下校や学校の環境美化などには多くの方々がかかわってくださっていました。今更、取り立てて、コミュニティ・スクールなんてカタカナ言葉を使って言わなくてもいいんじゃないのと思われるかもしれません。

1年生の下校の話に戻りましょう。一緒に下校して下さったお母さん、お迎えにポイントまで出て来て下さったお母さん、途中で声をかけて下さった地域の方、その方々は、なぜ自分の時間を割いて、子どもたち、学校のために活動して下さっているのでしょうか。

帰り道、心配しないで、帰ってきてほしい。学校で一杯楽しいことをしてきてほしい。いろいろな思いや願いをお持ちになっていることなのでしょう。そして、それが現実になるように、貴重な時間を割いて活動して下さっているのだと思います。でも、この「思い」は、行動から、校長なり、教頭なりが推測したものなのです。

実は、コミュニティ・スクール制度で一番重要なことは、この「保護者や地域の方々の思い」を受け止め、それをどのように教育の中に反映させていくかということなのです。でも、お一人お一人から思いをお聞きし、それをまとめていくことは現実には無理であるし、好ましいやり方ではありません。そのために、コミュニティ・スクール制度を取り入れた学校には、「学校運営協議会」という組織を作り、その組織の声を保護者の思い、地域の思いとして、学校と共に実現を図っていく、これがコミュニティスクール制度のもっとも重要なことです。

開成町の5年後10年後に活躍する人材の姿(資質)を地域みんなの思いをもとに具現化しようというのが、コミュニティ・スクール制度なのです。



5月15日朝。雨の中の交通指導。



私の願いは…安全に学校に行って

次回は運営協議会のお話を。